



取 付 説 明 書

TOYOTA bB
NCP31・35

BLITZ

〔1〕安全上のご注意

はじめに

- ・ この取付説明書には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品、欠品のないことを確認してください。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、エンジンの破損や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。

【二柱式リフトをお勧めします】

やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちる場合があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物等が混入しない様十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因となりますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのガソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。

作業の方へお願い！！

作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却して下さい。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検して下さい。

純正のホースやバンドなどの部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換して下さい。

〔2〕 適合車種

車 名：TOYOTA bB

型 式：NCP31,35

年 式：2000年1月～




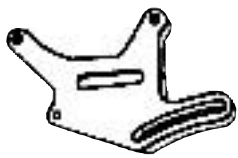











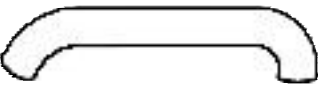












製品番号：NCP31 10105

NCP35 10106

製品名称：BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

[3] パーツリスト

構成部品及び付属品リスト

① コンプレッサー本体 1個	② チャンバー 2個	③ ガasket 2個	④ コンプレッサーブラケット 1個	
				
⑤ オルタネータープーリー 1個	⑥ テンショナープーリー 1個	⑦ テンショナーボルト 1個	⑧ コンプレッサーステー 1個	
				
⑨ デリバリーパイプカラー 1個	⑩ コンプレッサーカラー-A 1個 外径 18 内径 8.2 高さ11	⑪ コンプレッサーカラー-B 1個 外径 18 内径 8.2 高さ4	⑫ テンショナーカラー 1個 外径 18 内径 8.2 高さ23	
				
⑬ Vベルト 1個	⑭ インテークパイプNO1 1個	⑮ インテークパイプNO2 1個	⑯ インテークパイプNO3 1個	
				
⑰ インテークパイプNO4 1個	⑱ シリコンホース 60 - 50 1個	⑲ シリコンホース 54 - 50 1個	⑳ シリコンホース 50 4個	
				
㉑ ホースバンド 大 2個	㉒ ホースバンド 小 10個	㉓ フューエルポンプ 1個	㉔ スイッチ 1個	
				
㉕ リレーハーネス 1個	㉖ M6用カラー 1個	㉗ アクセスコンピューター 1個	㉘ 取り扱い説明書 1個	
				
㉙ フランジ付六角ボルト M6 x 16 8ヶ	㉚ フランジ付六角ボルト M6 x 20 1ヶ	㉛ フランジ付六角ボルト M6 x 40 4ヶ	㉜ フランジ付六角ボルト M8 x 45 2ヶ	㉝ フランジ付六角ボルト M8 x 50 1ヶ
㉞ フランジ付六角ボルト M10 x 35 3ヶ	㉟ キャップボルト M8 x 75 1ヶ	㊱ フランジ付六角ナット M10 x 1.25 2ヶ	㊲ ワッシャー M6用 1ヶ	㊳ ワッシャー M8用 1ヶ
㊴ タイラップ 10ヶ	㊵ 17- 15カラー 1ヶ	㊶ 三方ニップル 8-4-8 1ヶ	㊷ エレクトロタップ 端子・スリーブ 2ヶ 1セット	㊸ ヒューズ 20A 1ヶ

〔4〕純正部品取り外し作業



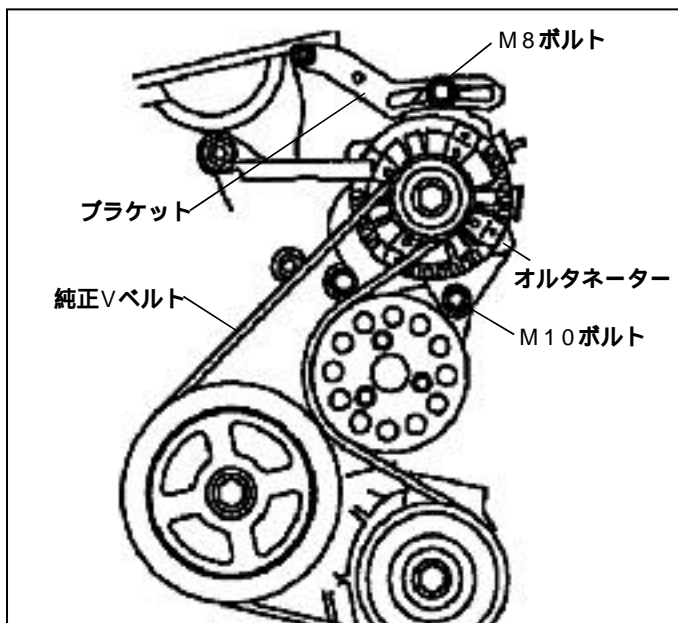
- (1) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
- (2) 純正ナット(4ヶ)を取り外し、エンジンフードカバーを取り外す。



- (3) スタッドボルトを緩め、ハーネスASSYをインテークマニホールドより取り外す。
- (4) ハーネスクランプ(2ヶ)をハーネスASSYより取り外す。



- (5) 図のようにインテークマニホールドのハーネスクランプ用ボスを切断する。(片側のみ)

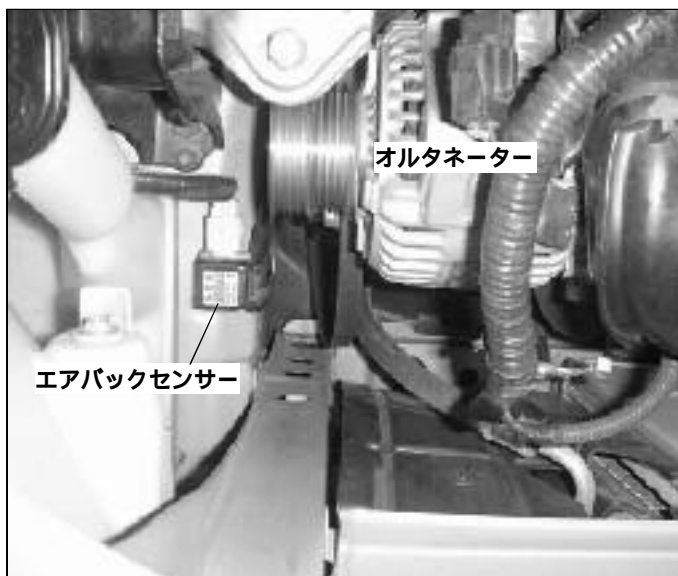


(6) オルタネーターの取り外し

- (a) オルタネーターの上側(M8)、下側(M10)のボルトを緩め、純正Vベルトを取り外す。
- (b) オルタネーター部のカプラー、B端子を取り外し、ハーネスクランプをステーより取り外す。



- (c) オルタネーター上部のM8ボルトを取り外しブラケットを取り外す。シリンダーヘッド側のスタッドボルトも取り外してください。



- (d) エアバックセンサーを取り外し(ボルト2ヶ)、オルタネーター下側のM10ボルトを取り外す。エアバックセンサーを取り外さないでM10ボルトを抜く事が出来ません。

注意 エアバックセンサーを取り外す前に再度バッテリーのマイナス端子を外してあるか確認してください。

- (e) オルタネーター本体をエンジンより取り外す。



- (7) 純正クランプ(2ヶ)を緩め、純正インテークホースを取り外す。

注意

ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。

〔5〕コンプレッサキット取り付け作業



- (1) 純正オルタネーターのセンターナットを緩め、純正プーリーを取り外し、
⑤ オルタネータープーリーに取替える。

トルク 100.0N・m

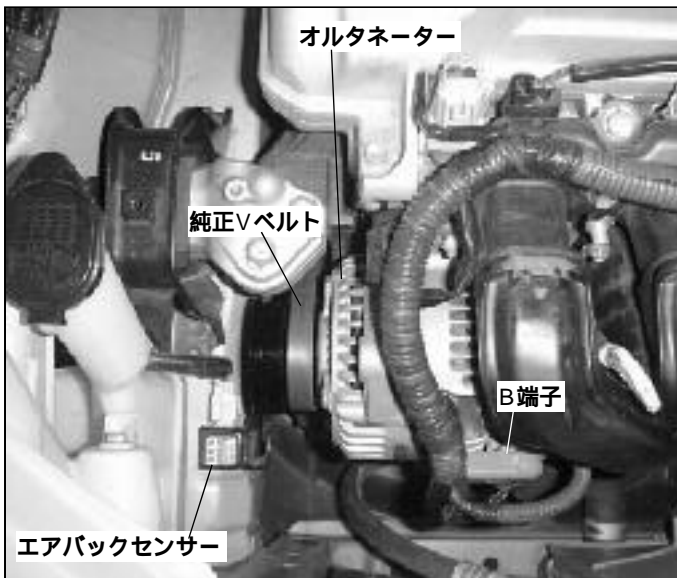
注意

ネジ部にネジロック剤を塗布して下さい。

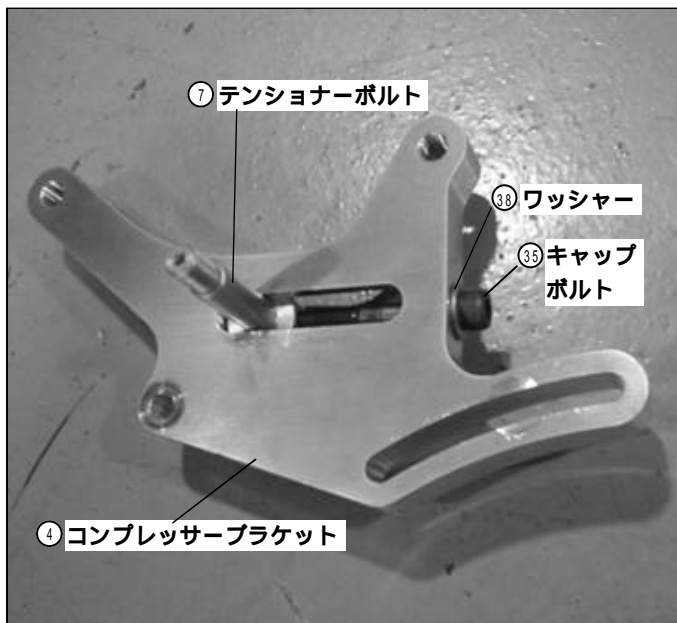
車両によりオルタネーターのシャフトの径が 15 のものがあります。その場合は付属の ④0 カラーを使用してください。



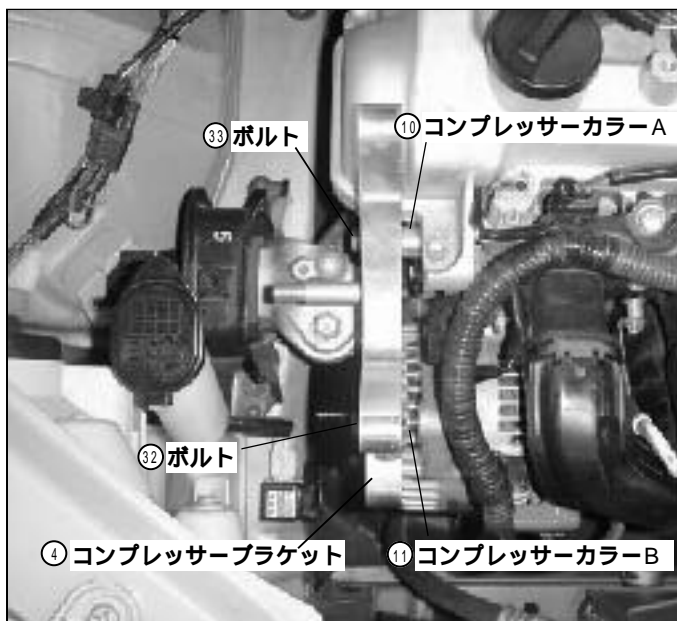
- (2) 純正オイルレベルゲージガイドを止めているM6ボルトを取り外す。
(3) 純正オイルレベルゲージガイドのステー部分に、②6 カラーと③7 M6 ワッシャーを挟み、③0 ボルトで取り付ける。オイルレベルゲージがインテークマニホールドに近づきますので位置を調節してください。



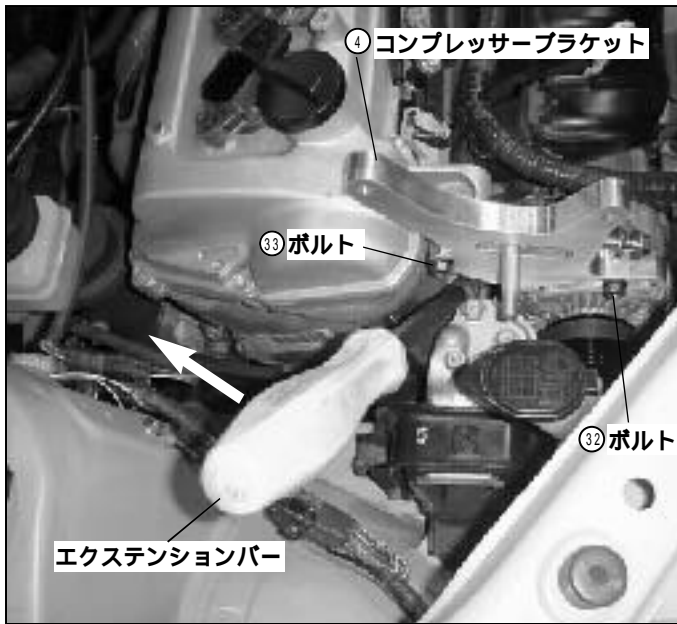
- (4) オルタネーター本体をエンジンに取り付け、オルタネーター下側のM10ボルトを仮付けする。
- (5) 純正Vベルトを仮付けする。(オルタネータープーリーの内側にベルトを掛けて下さい)
- (6) オルタネーター部のカプラー、B端子、ハーネスクランプを取り付ける。
- (7) 先程取り外したエアバックセンサーを取り付ける。



- (8) ④ コンプレッサーブラケットに ⑦ テンショナーボルト、③⑤ キャップボルト、③⑧ ワッシャー を組み付ける。

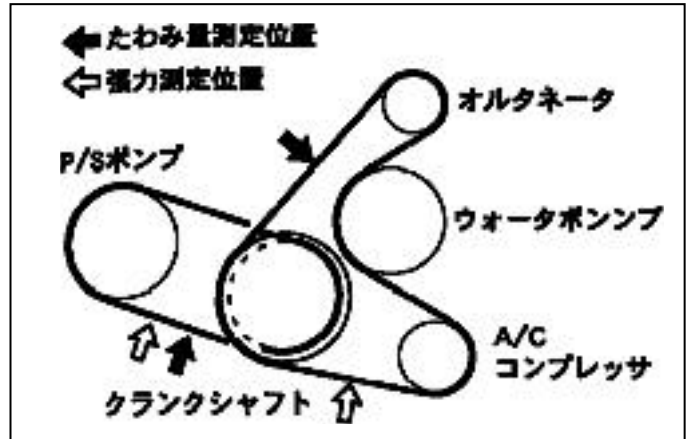


- (9) (8) で組み付けたコンプレッサーブラケットを ⑩ コンプレッサーカラーA、⑪ コンプレッサーカラーB、③② ボルト、③③ ボルトで仮止めする。



(10) 図の様にエクステンションバー等を使用し、たわみ量を調整してオルタネーター下側M10ボルト、コンプレッサーブラケット部のボルト(2ヶ)を本締めする。

トルク M8ボルト 18.5 N・m
M10ボルト 54 N・m



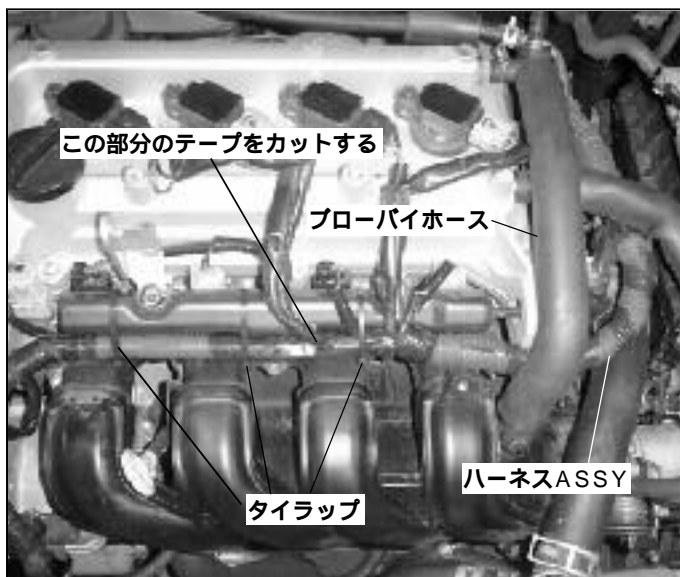
オルタネーター用Vベルトたわみ量

	新品取付時(mm)	点検時(mm)
Vベルト	7~8.5	11~13

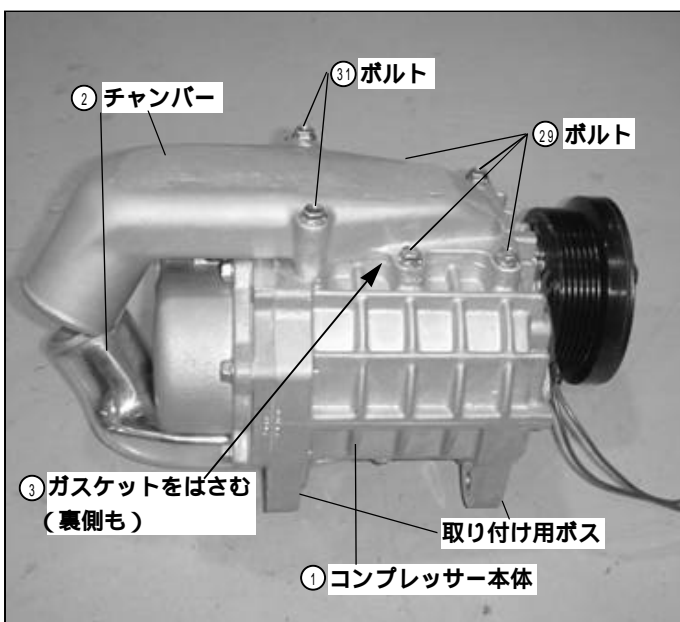


(11) デリバリーパイプ部の樹脂カラー(エンジン右側)を取り外し、⑨デリバリーパイプカラー、⑧コンプレッサーステーを③②ボルトで仮止めする。

エンジン左側のボルトを緩め、デリバリーパイプをずらして取り外してください。デリバリーパイプをずらす際、燃料の流出に注意してください。



- (12) 図中のブローパイプを一度取り外し、ハーネスASSYをブローパイプの下側を通し、デリバリーパイプと同じ高さのなるくらいまで下げ、図の様にタイラップで固定する。ブローパイプは忘れずに元に戻してください。
- 車両によりハーネスASSYがあまり下がらない場合があります。その際は図中部分のテープをカットし配線に余裕を持たせてください。



- (13) ① コンプレッサー本体に ② チャンバー(2ヶ)を ③ ガasketをはさみ、②9 ボルト、③1 ボルトを使用して組み付ける。
- トルク 10N・m
- コンプレッサー本体は図の用に取り付け用ボスが下向きとなります。コンプレッサープレートの張ってあるチャンバーを上側になるよう取り付けてください。



- (14) (13)で組み付けたコンプレッサー本体を、③4 ボルト(3ヶ)、③6 ナットを使用して図の様に取り付ける。
- トルク 35N・m

注意

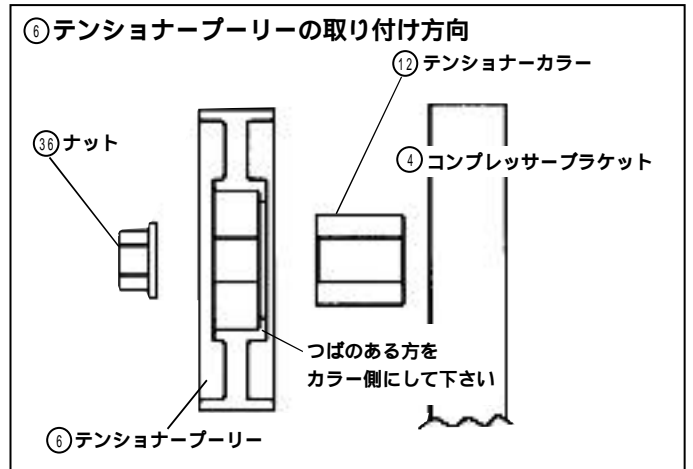
コンプレッサーから出ているハーネスはVベルト等に干渉しないように通して下さい。

車両、部品のばらつきによりインテークマニホールドとチャンバーが干渉する場合があります。その時は、インテークマニホールドを少し削ってください。

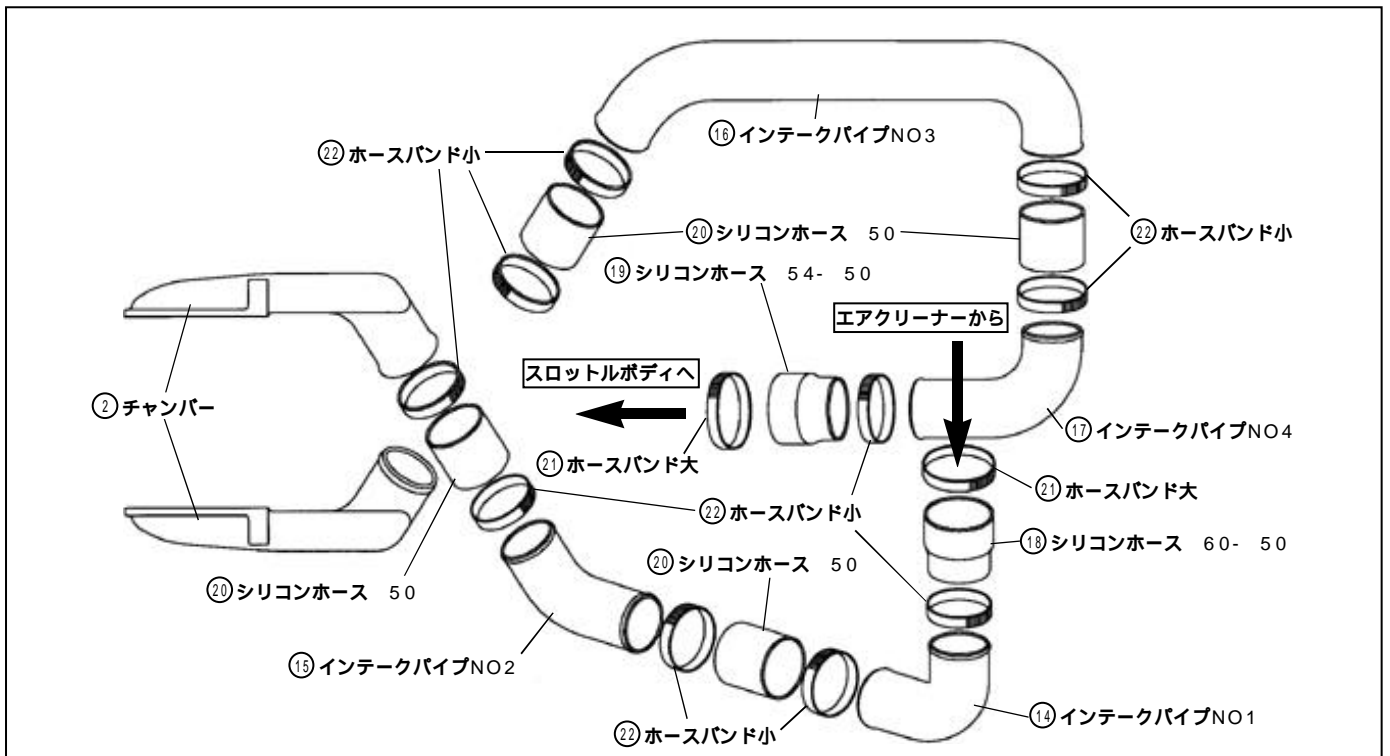
- (15) ⑧ ステア部分の ③2 ボルトを本締めする。
- トルク 18.5N・m



(16) ⑬ Vベルトを取り付け ⑫ テンショナーカラー、⑥ テンショナープーリーを ⑬ ナットで仮止めする。



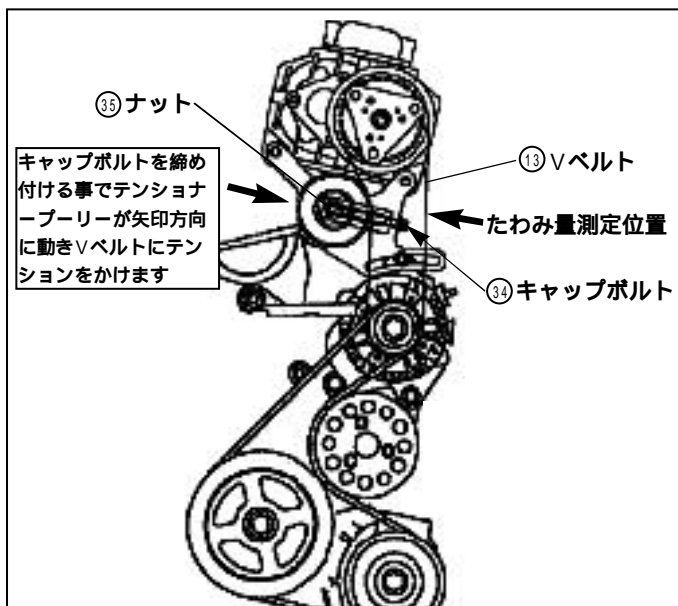
(17) 下図の様にインテークパイプを取り付ける。



(18) ⑮ インテークパイプNO3のステー部を純正インテークマニホールドのボス部に固定する。(純正のスタッドボルトを使用して下さい。)

(19) インテークパイプの位置を調整しホースバンドを締め付ける。

(20) ⑮ インテークパイプNO1の 16パイプ部分に純正ブローバイホースを純正クリップで取り付ける。



- (21) コンプレッサー用Vベルトを仮付けし、図のキャップボルトを締め、たわみ量を調整し、図のナットを締め付ける。

トルク 35 N・m

コンプレッサー用Vベルトたわみ量

	新品取付時(mm)	点検時(mm)
Vベルト	7 ~ 8.5	11 ~ 13



- (22) ボンネット裏の防音材とチャンバーが干渉する部分があります。防音材を取り外すか、干渉する部分を切り取ってください。

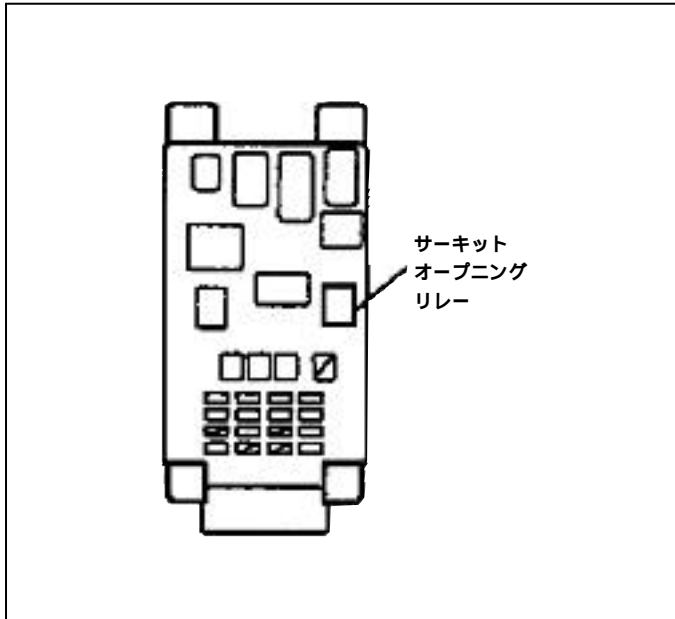
- (23) ブースト計等を取り付ける場合は、絵図の純正バキュームホースに ④① 三方ニップルを割り込ませブースト圧を取ってください。

- (24) 純正エンジンフードカバーを取り付ける場合はキット部品に干渉する部分を切り取って取り付けてください。

ヘッドカバー側のナット(2ヶ)で取り付けてください。

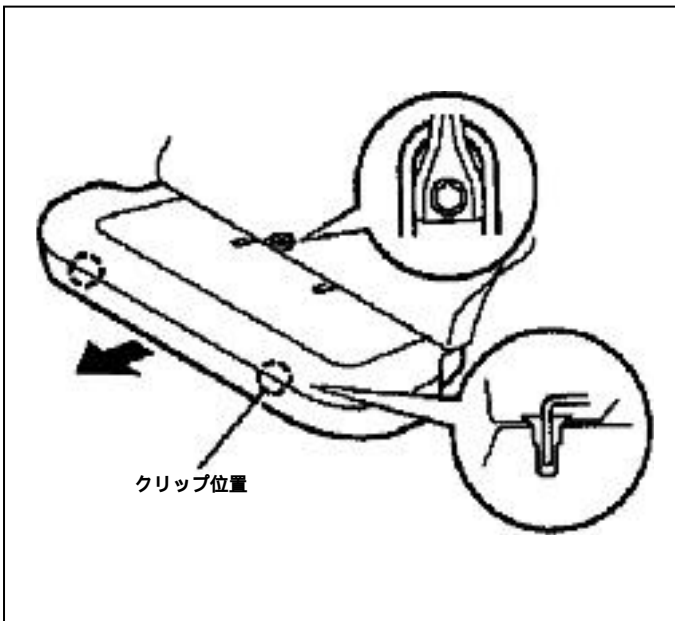
付属の型紙を参考にしてください。

〔6〕フューエルポンプの交換



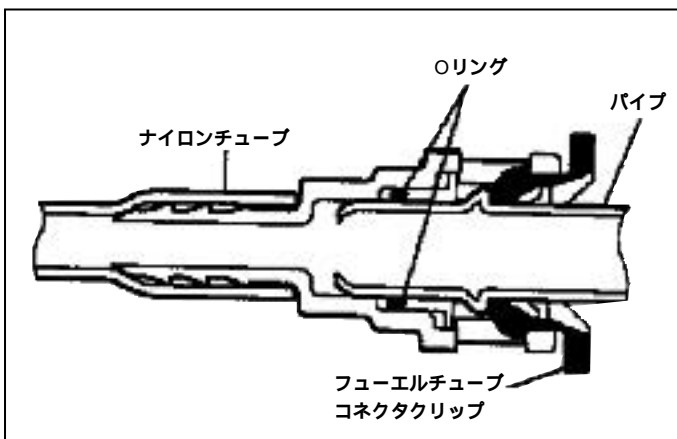
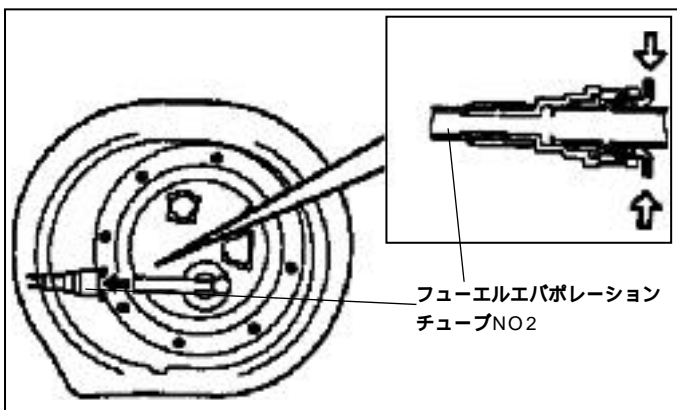
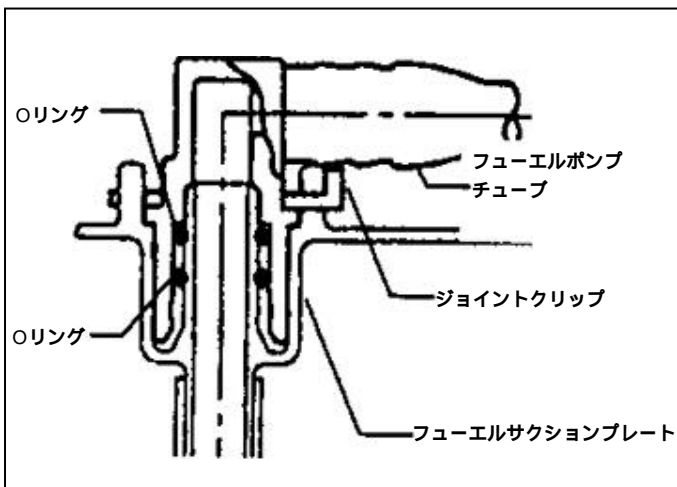
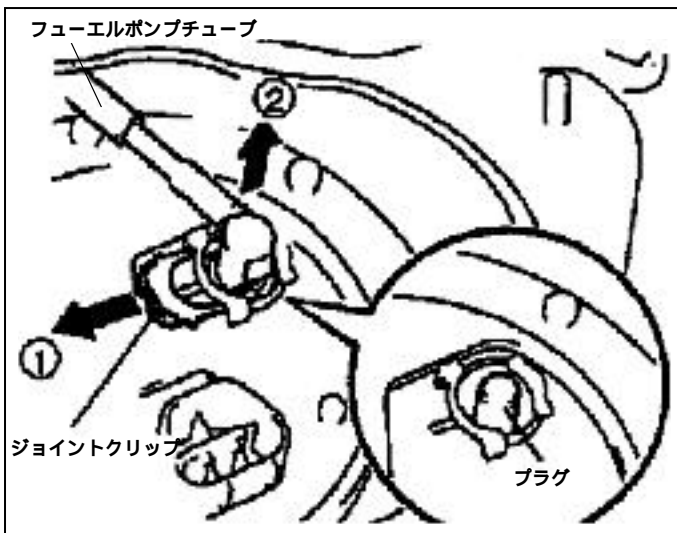
(1) 燃料流出防止作業

- (a) バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- (b) インパネ J / B 内のサーキットオープニングリレーを取り外す。
- (c) エンジンを始動し、自然に停止した後イグニッションスイッチをOFFにする。
- (d) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
- (e) サーキットオープニングリレーを取り付ける。
- (f) フューエルタンクキャップをはずし、フューエルタンク内の圧力を抜く。
サーキットオープニングリレーはハンドルの右下にあります。



(2) リアシートクッション取り外し

- (a) リアシートASSYが一体可倒式の車輛は、クッションASSYの前端部を持ち上げ、クリップのかん合をはずす。
後方の引っ掛けワイヤのかん合をはずし、前方へ引き抜いてクッションASSYを取り外す。
- (b) リアシートASSYが分割可倒式の車輛は、リアシートASSYを前方にたたむ。



(3) リアフロアサービスホールカバーを取り外す。

(4) フューエルポンプチューブ切り離し

(a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。

(b) ジョイントクリップをはずし、上方に引き上げる。

注意

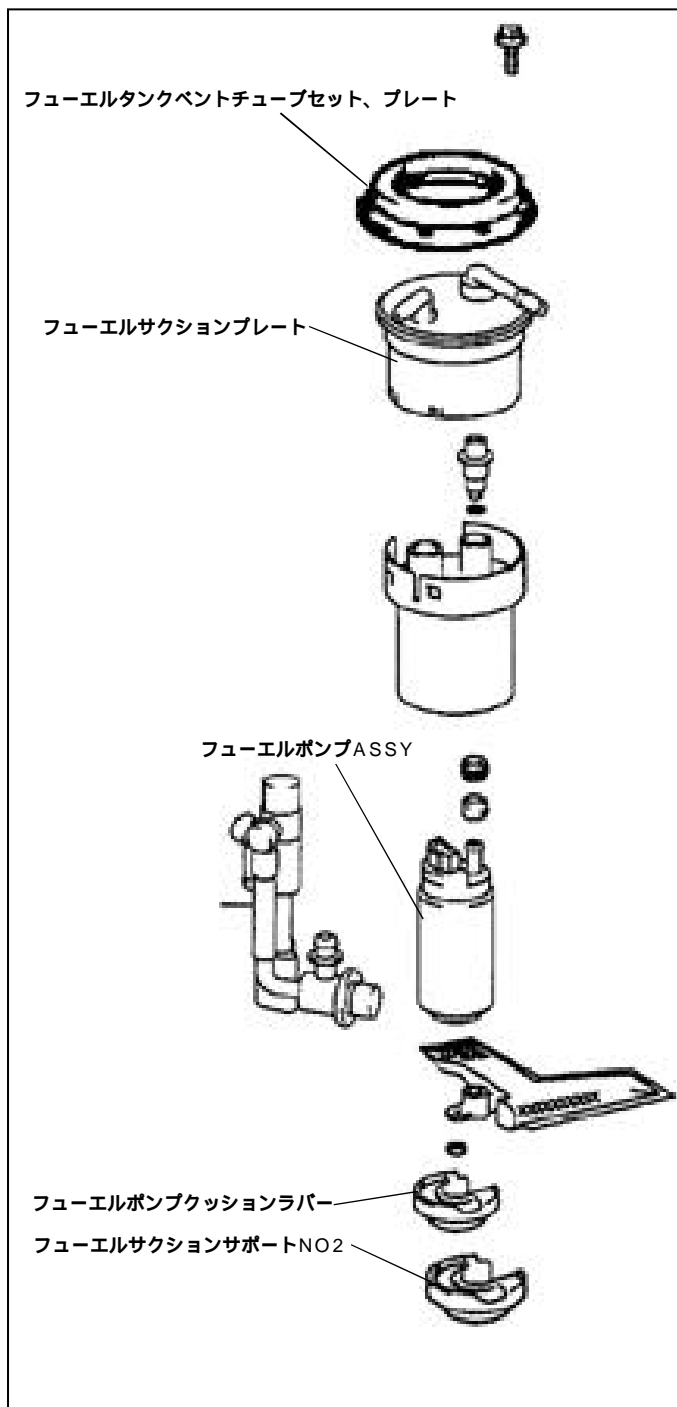
- ・クイックコネクタはOリングによりナイロンチューブサクションプレートのプラグ部をシールしている為、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業を行う。
- ・脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・プラグ部に異物などを付着させない。
- ・切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。

(5) フューエルエバポレーションチューブNO2切り離し（駆動方式2WD車）

(a) フューエルチューブコネクタクリップ先端を指でつまんでコネクタを引き抜いて切り離す。

注意

- ・クイックコネクタはOリングによりナイロンチューブサクションプレートのプラグ部をシールしている為、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業を行う。
- ・脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・プラグ部に異物などを付着させない。
- ・切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。
- ・コネクタが固着している場合は、押したり引いたりして固着を解除する。



- (6) フューエルタンクベントチューブセット、プレートを取り外す。
- (7) フューエルサクシオンチューブASSY W/ポンプ&ゲージを取り外す。
- (8) フューエルサクシオンプレート取り外し
- (a) マイナスドライバーを使用して、ロックをはずしフューエルサクシオンプレートを取り外す。
- (b) フューエルポンプ部のカプラーを取り外す。
- (9) フューエルサクシオンサポートNO2を取り外す。
- (10) フューエルポンプクッションラバーを取り外す。
- (11) フューエルポンプASSYを取り外す。
- (12) フューエルポンプ取り付け
 - (a) ⑳ フューエルポンプを純正品と逆の手順で組み付ける。
 - (b) フューエルサクシオンチューブASSY W/ポンプ&ゲージを取り外しと逆の手順で取り付け。

注意

・カプラーは確実に接続してください。

〔7〕アクセスコンピューターの取り付け

- (1) アクセスコンピューターから出ている白線に付属の端子・スリーブを取り付ける。
- (2) 助手席グローブボックス及びグローブボックス下の樹脂カバーを取り外す。
- (3) エンジンコンピューターのカプラーを取り外す。
- (4) エンジンコンピューター側面のネジ（左右2ヶづつ）を取り外す。
- (5) エンジンコンピューター後ろ側のネジ（1ヶ）を取り外し、エンジンコンピューターを車輦より取り外す。
- (6) アクセスコンピューターを取り外しの逆の手順で取り付ける。

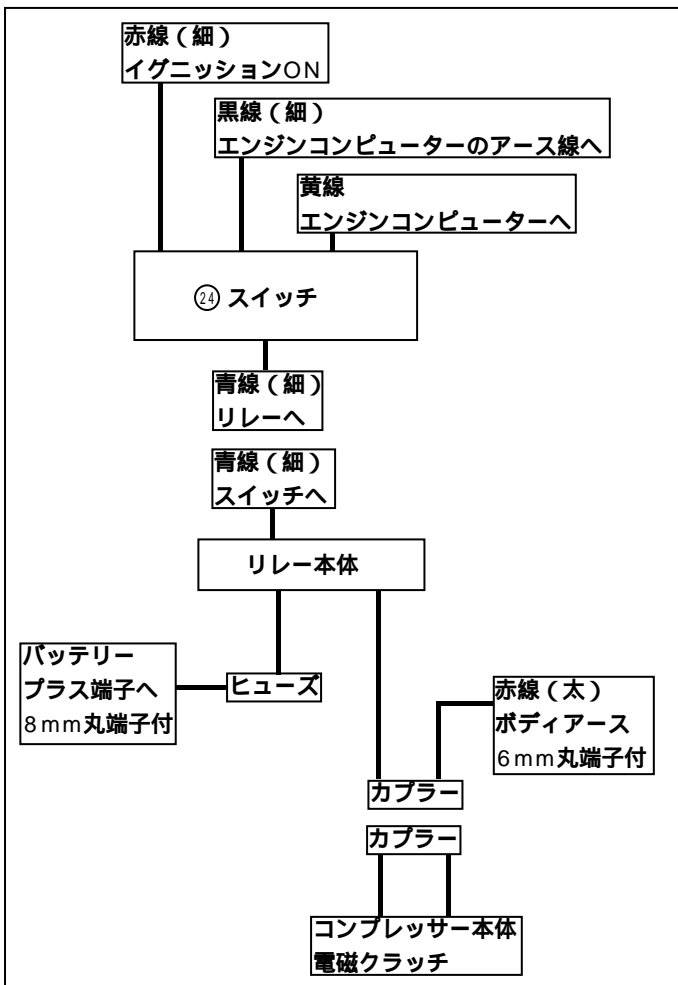
〔 8 〕 リレースイッチの取り付け、

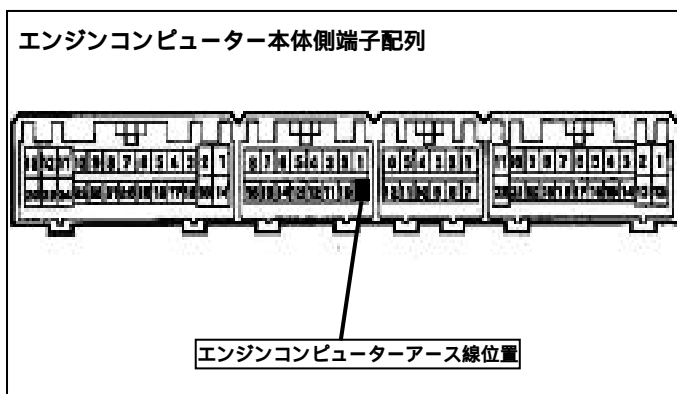
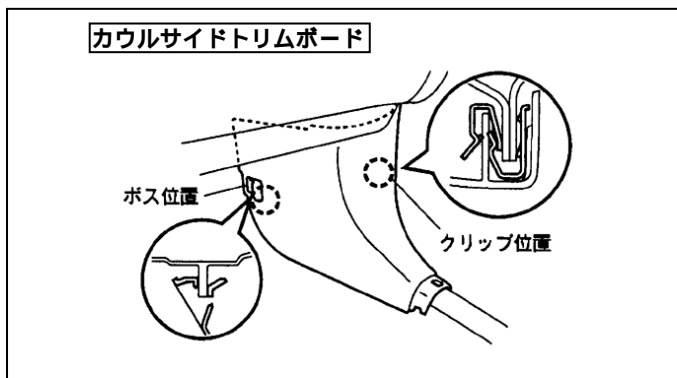
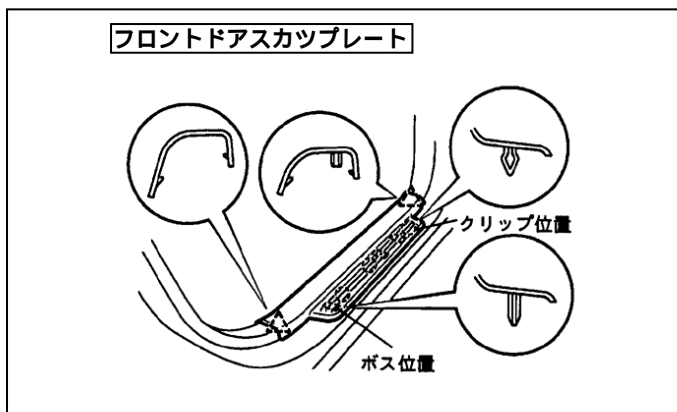


- (1) ②⑤ リレーハーネスの取り付け
- (a) ②⑤ リレーハーネスをコンプレッサーから出ているハーネスカプラーに接続する。
- (b) リレー本体を図の純正ボルトで共締めし固定する。
- (c) カプラーから出ている赤線（6mm丸端子側）を図のボディアース位置に取り付ける。
- (d) リレー本体から出ている赤線（8mm丸端子側）をバッテリープラス端子に接続する。
- (e) リレー本体から出ている青線を助手席側の室内に引き込む。

注意

- ・ハーネスがプーリー、Vベルト等の可動部に干渉しないよう注意して下さい。
- ・バッテリーに接続する線と、ボディアースする線を間違えないように注意してください。





- (2) ②④ スイッチの取り付け、配線
- (a) 助手席側のフロントドアスカツプレート及びカウルサイドトリムボードを取り外す。
- (b) 黄線をアクセスコンピューターから出ている白線に接続する。
- (c) 黒線(細)を下記図のエンジンコンピューターのアース線に接続する。
- (d) 赤線(細)をイグニッションON電源に接続する。
- イグニッションONとエンジンコンピューターのアース線はエレクトロタップを使用して配線して下さい。
- (c) 青線を先程室内に引き込んだリレーハーネスの青線に接続する。
- (c) ②④ スイッチをカウルサイドトリムボードの内側にタイラップで固定する。
- (d) カウルサイドトリムボード及びフロントドアスカツプレートを取り付ける。
- (3) エンジンルームヒューズボックス内のAM2(15A)ヒューズを付属のヒューズ(20A)と取り替える。
- (4) バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- (5) イグニッションキーをONにして、アクセルを踏み込み、途中でコンプレッサープリーのクラッチがカチッと入ることを確認する。(アクセル開度70%でクラッチがONになります。)

注意

- ・ エンジンを始動せずに確認をして下さい。

以上で本キットの取り付けは終了です。

〔9〕取り付け後の確認

エンジン始動前の確認

- ・パイプ、ホース等、配管及び配線に間違いがないか確認して下さい。
- ・ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認して下さい。
- ・ガソリンはハイオクガソリンに入れ換えてあるか確認して下さい。

エンジン始動後の確認

- ・コンプレッサーから異音等がないか確認して下さい。
- ・軽く空ぶかしを行い、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認して下さい。
(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認して下さい。

〔10〕メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行って下さい。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については、必ず実施して下さい。

コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・コンプレッサーギアオイル量の点検(20000Kmで点検)
- ・エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
- ・エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ・オートマチックトランスミッションオイルの定期的な交換
(推奨 20000Km以内で交換)
- ・Vベルトの定期的な点検、交換(推奨 5000Kmで点検)
- ・ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないで下さい)

〔11〕推奨パーツ

- ・プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340-B コードNo.14437
- ・オイル BLITZ ZERO GRADE-ZZ コードNo.17010
- ・SUS POWER CORE TYPE LM コードNo.56059
- ・SUS POWER AIR CLEANER コードNo.26059

SUS POWER クリーナーはどちらも装着可能です。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

連絡先 (株)ブリッツ TEL 0422-60-0515
住所 東京都西東京市新町4-7-6 FAX 0422-60-0520

製造・発売元	株式会社ブリッツ
取扱説明書番号	10105002
初版作製年月日	2001.05.01

BLATZ